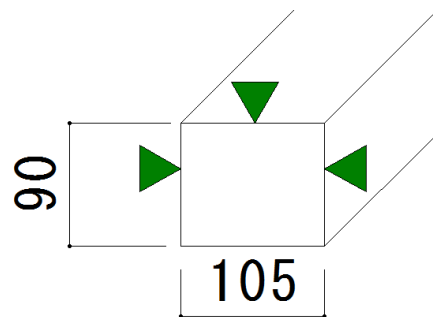


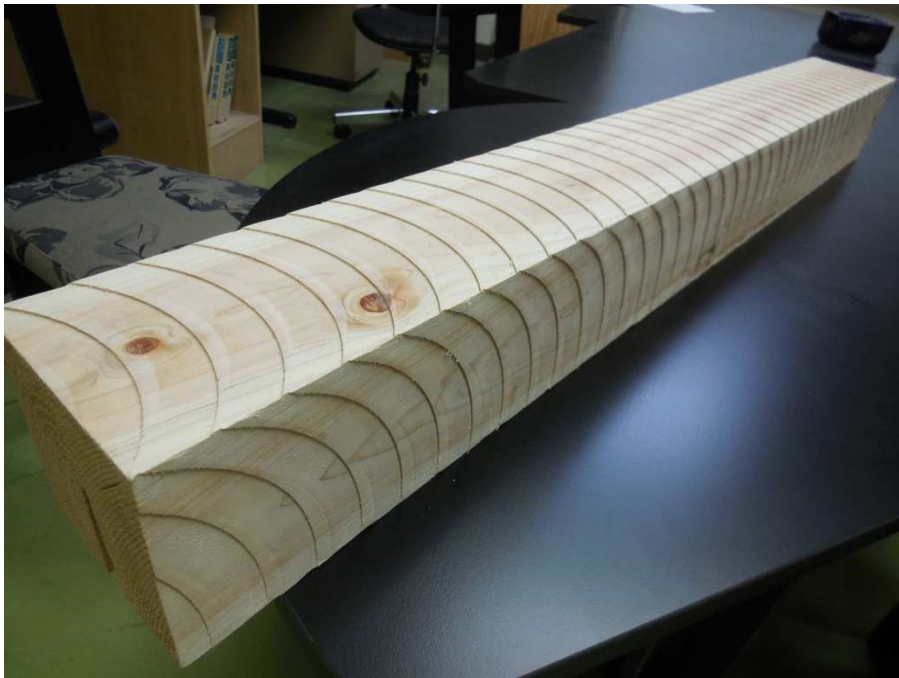
円弧柄のナグリ加工について

今回は円弧柄のナグリ加工の依頼で 105*90*3000 の米松の柱にナグリ加工するもので、矢印の3面にナグリを入れるものです。



米松材でのナグリ状況。
これは柱状のナグリですが、こんな形状のデッキ材へのナグリ加工の施工事例があります。





桧の柱材への円弧柄のナグリ状況です。



角材の円弧同士の交点と角材の角を一致させる計算ですが、角材の微妙な反り、ネジレによって交点に多少のズレが発生します。
また、平面的な加工に見えますが、3度の傾きを持って円弧状に切削し、2mmの段差を付けています。



今回の円弧状のナグリはデッキ材での施工事例がありましたが、柱材としては初めてです。お客さまがどのように使用するのか、仕上がり、納まり具合に非常に興味が有ります。

(株)SNC 住設事業部 Da・Monde 鈴木

平成 26 年 10 月 27 日